

## マツダの技術開発長期ビジョン 「サステイナブル Zoom-Zoom 宣言 “2030” を公表 ～次世代エンジン SKYACTIV-X も発表！～

マツダ(株)は、8月8日、2030年を見据えた技術開発の長期ビジョン「サステイナブル Zoom-Zoom 宣言 2030」を公表しました。またこのビジョンの実現に向けてガソリンエンジンにおける圧縮着火を世界で初めて実現した次世代エンジン「SKYACTIV-X(スカイアクティブ-エックス)」を含めた次世代技術を、2019年から導入することも明らかにしました。

要旨は以下の通り。

### <サステイナブル “Zoom-Zoom 宣言” 2030>

マツダは、美しい地球と心豊かな人、社会の実現を使命と捉え、クルマの持つ価値により、人の心を元気にすることを追及し続けます。

#### 地球領域 環境保全の取組により豊かで美しい地球と永続的に共存できる未来を築いていきます。

- ・「well-to-wheel」(燃料採掘から車両走行まで)での企業平均CO<sub>2</sub>排出量を2050年までに2010年比90%削減することを視野に、2030年までに50%削減を目標とする。
- ・今後も世界的に大多数を占めると予測され、CO<sub>2</sub>の削減に最も効果のある内燃機関の理想を徹底的に追求し、効率的な電動化技術と組み合わせ導入。
- ・さらに、クリーン発電地域や、大気汚染抑制のための自動車に関する規制がある地域に対して、EVなどの電気駆動技術を2019年から展開。

#### 「社会」領域 安心・安全なクルマと社会の実現により、全ての人が全ての地域で自由に移動し、心豊かに生活できる仕組みを創造し、築いていきます。

- ・事故のないクルマ社会の実現に向け、「MAZDA PROACTIVE SAFETY(マツダ・プロアクティブ・セーフティ)」の思想にもとづくさらなる安全技術の進化を追究。
- ・基本安全技術の継続的進化と標準装備化。および先進安全技術「i-ACTIVSENSE(アイ・アクティブセンス)」をグローバルに標準装備化を推進。
- ・人間中心の自動運転コンセプト「Mazda Co-Pilot Concept(マツダ・コパイロット・コンセプト)」にもとづいて開発を進めている自動運転技術の実証実験を2020年に開始。2025年までに標準装備化を目指す。
- ・コネクティビティ技術の活用により、クルマを使う人が交通弱者や過疎地での移動を支える役割を担えるビジネスモデルを創造。

#### 「人」の領域 「走る喜び」にあふれたクルマを通じて、地球を守り、社会を豊かにすることで、人々に心の充足を提供し、心を健康にします。

- ・人の能力を引き出し、心と体を活性化させる「人馬一体」感のさらなる追究。
- ・「クルマに命を与える」という哲学のもと、クルマのデザインを芸術の域まで高め、見る人全ての心を豊かにする「魂動デザイン」のさらなる進化。

### <次世代エンジン「SKYACTIV-X」>

#### 革新技術

- ・ガソリンと空気の混合気をピストンの圧縮によって自己着火させる燃焼技術(圧縮着火、Compression Ignition(CI))を世界で初めて実用化。
- ・マツダ独自の燃焼方式「SPCCI(Spark Controlled Compression Ignition)」(火花点火制御圧縮着火)によって、従来ガソリンエンジンにおける圧縮着火(CI)の実用化で課題となっていた、圧縮着火(CI)の成立範囲を拡大することで、火花点火と圧縮着火(CI)のシームレスな切り替えを実現。

## <特長>

- ・ガソリンエンジンとディーゼルエンジンの特徴を融合した、新しいマツダ独自の内燃機関であり、優れた環境性能と出力・動力性能を妥協なく両立。
- ・圧縮着火(CI)によるこれまでにないエンジンレスポンスの良さと、燃費改善目的で装備したエア供給機能を活用し、現行の「SKYACTIV-G」に比べて全域で10%以上、最大30%におよぶ大幅なトルク向上を実現。
- ・圧縮着火(CI)で可能となるスーパーリーン燃焼によって、エンジン単体の燃費率は現行の「SKYACTIV-G」と比べて最大で20~30%の改善。最新の「SKYACTIV-D」と同等以上の燃費率を実現。
- ・低燃費率領域が極めて広いエンジン特性によるギア比選定の自由度の大幅拡大により、走りと燃費を高次元で両立。

(スーパーリーン燃焼：通常の火花点火では、失火してしまうレベルまで燃料を希薄化した状態)

今後もマツダは、将来においても「地球」・「社会」・「人」とクルマが共存する世界の実現を目指し、「走る喜び」にあふれたカーライフを通じて、お客さまの人生をより豊かにし、お客さまとの間に特別な絆を持ったブランドになることを目指してまいります。

## お詫びとお知らせ

### お詫び

9月16日(土)-17日(日)に予定していました「Be a driver. Experience at MIYOSHI」は、台風18号の広島接近のため、安全最優先での判断、対応し、中止させていただきました。

参加を予定されておられました方々をはじめ関係された皆様にお詫び申し上げます。

### お知らせ

本年10月28日(土)-29日(日)の両日、県立みよし公園にて開催されます「第35回三次商工フェスティバル」において、昨年に引き続き、マツダ(株)三次自動車試験場テストコース見学バスツアーを同社が実施します。

おむすび型の高速周回路や、世界の道を再現した総合試験路などを開発現場の一端を垣間見ることができます。フェスティバル当日、マツダ出展テントでも見学バスツアーの受け付けますので、ぜひご参加ください。



## 新会員様ご紹介のお願い

三次郷心会では郷心会活動の一層の前進を目指し、新会員を募集しております。ご紹介いただける場合、気軽に三次郷心会事務局までご連絡ください。

### 郷心会の本年度のスローガン

広めよう郷心会の和

- ・郷心会の活動にもっとみなさん参加しよう。
- ・会員同士の繋がりをもっと強化していこう。
- ・郷心会の活動をもっと地域に発信しよう

本紙に関してのお問合せ、またご意見等は、下記宛にお願いします。

三次郷心会 事務局 西、上馬場 まで 〒728-0021 三次市三次町 1843-1 三次商工会議所ビル内

TEL:0824-63-0673 FAX:0824-63-3064 e-mail: [nishi.t@mazda.co.jp](mailto:nishi.t@mazda.co.jp)